



迪化街 台北霞海城隍廟



SNET台湾 みんなの台湾修学旅行ナビ  
[https://taiwan-shugakuryoko.jp/spot\\_north/411/](https://taiwan-shugakuryoko.jp/spot_north/411/)



エリア

台北市

テーマ

歴史

宗教

建築

# 迪化街 台北霞海城隍廟

## 新旧文化が混じったレトロでモダンで、歴史を感じるストリート

迪化街は、台北市の大同区、淡水河の近くにある、民権西路交差点から南京西路交差点までの南北約1キロの通りです。このあたりは、19世紀半ばに台北市南西部の萬華から移り住んだ漢人がつくった地域で、昔は大稻埕と呼ばれていました。清朝時代には中国大陸との交易の拠点として栄え、最盛期にはジャンク(木造帆船)がここまで入ってきました。現在は、布地、漢方薬、乾物、なまこ等の高級食材、タピオカの原料などが売られる問屋街で、日本統治期の建築物が改修されたモダンなレストランやショップがある通りでもあります。迪化街の南端近くには、結婚や恋愛成就にご利益があると人気の台北霞海城隍廟があります。

## 学びのポイント

### 1.

#### 庶民の暮らしが垣間見える迪化街

ショッピングモールや超高層ビル、マンションが多い台北市東部に比べると、西部は1960~70年代に建てられた建物が多く、東部とは異なる台北の姿を見ることができます。人々の生死や地域の安寧を司る城隍を祀る廟があり、台湾の美食を支える高級食材や乾物の問屋が軒を並べ、カラフルな布地や竹細工を売る店などもあります。土産物店と飲食店ばかりがある観光街とは異なる台湾の風情を感じられます。

### 2.

#### 多く残る近代建築物

乾物や高級食材を売る商店とともに、近代建築物も多くあります。現在、これらはカフェやレストラン、オリジナルグッズを売る店などになっています。日本統治期、現在の迪化街を含む大稻埕には、交易で巨額の利益を得た人々が住み、店や住居として洋風建築物を建てました。それらの建築物の中には、老朽化のため長年使われていないものもありましたが、2000年前後から台湾で古い建築物の再建・整備が進められ、迪化街の近代建築物も整備されるようになりました。

### 3.

#### 現世利益も重要な台湾の宗教

宗教というと死後の安寧を願うことと思うかもしれませんが、台湾では、現世のご利益も大事です。家庭円満、財運アップ、健康維持、子宝など、それぞれの願いに対応する神がいます。台北霞海城隍廟に祀られている月下老人は、台湾では恋愛・結婚成就に最も靈験がある神として絶大な人気を集めています。日本と同様に少子化や晩婚化が進む台湾ですが、恋愛・結婚を願う人々が多いという面もあります。